

平成26年度第1回芦屋市スポーツ推進審議会会議録

日 時	平成27年2月25日(水) 15:30~17:15
場 所	芦屋市立体育館・青少年センター2F大会議室
出席者	会 長 岡田 明 副会長 西田 俊一 委 員 井原 一久, 古津 純子, 比嘉 悟, 金山 千広, いとう まい, 丹下 秀夫, 北尾 文孝, 和泉 淑子 (2人欠席: 山口 泰雄, 中島 健一)
事務局	福岡 憲助教育長, 中村 尚代社会教育部長, 木高 守スポーツ推進課長, スポーツ推進課職員(権藤 弘之, 木戸 秀行, 大西 貴和, 藤岡 厚貴), 学校教育課職員(木下 新吾)
会議の公開	■ 公 開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1)委嘱状及び任命書授与
- (2)挨拶
- (3)委員及び職員自己紹介
- (4)会長, 副会長選出(条例第5条に基づく)
- (5)議 題
 - ①芦屋市スポーツ関係団体の補助金交付について(スポーツ基本法第35条に基づく)
 - ②芦屋市スポーツ推進実施計画の進捗状況について(スポーツ基本法第10条に基づく)
 - ③そ の 他

2 提出資料

- 資料1 平成27年度スポーツ関係団体の市補助金について
資料2 芦屋市スポーツ推進実施計画進捗状況
資料3 平成26年度 学校体育・スポーツ関係資料
資料4 平成26年度 国民体育大会等の全国大会出場一覧
資料 あしやスポーツフォーラム資料

3 審議経過

《開 会》

《委嘱状及び任命書授与》

《福岡教育長挨拶》

《委員及び教育委員会職員自己紹介》

《会長及び副会長選出》

会長に岡田 明氏，副会長に西田 俊一氏を選出

《議 事・議 題》

- ・委員 10 人の出席により審議会条例第 6 条第 2 項の規定により，本審議会成立
- ・情報公開条例第 19 条（会議の公開）の規定により議事録等公開を確認

岡田会長 議題（1）平成 27 年度芦屋市スポーツ関係団体の補助金交付について
このことについては，スポーツ基本法第 35 条（審議会等への諮問等）に基づき，本審議会に意見を聞くこととなっております。
それでは，事務局から説明をお願いします。

木高課長 スポーツ関係団体の補助金交付については，団体の活動実績及び活動内容，社会的な役割など十分に勘案しまして，補助額の適正化を図っています。
芦屋市においては，特定非営利活動法人芦屋市体育協会と芦屋市レクリエーションスポーツ協会の 2 団体に補助金の予算立てをしているところです。
平成 27 年度において，別途資料のとおりですが，補助内容について担当者から順次説明させていただきます。

大西主事 1 特定非営利活動法人芦屋市体育協会について説明（資料 1 は別紙のとおり）
平成 27 年度については，120 万円を申請しています。

木戸指導主事 2 芦屋市レクリエーションスポーツ協会について説明（資料 1 は別紙のとおり）
平成 27 年度については，35 万円を申請しています。

岡田会長 随分たくさんの事業を展開されているにもかかわらず，この程度の補助金額では厳しいのではないかと素朴に受けますが，委員の皆様方から何かご質問ご意見等がございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

金山委員 体育協会の資料では，障がい者スポーツの「がい」が平仮名であったり漢字であったりしています。すこし用語の使い方の整理をしていただけたらと思います。いかがでしょうか。

大西主事 芦屋市では，「がい」はひらがなで統一して使っていますが，行政用語など

は漢字を使っている場合が多いようです。

金山委員 法律などは漢字ですね。

西田副会長 体育協会の中でもう一度整理します。

いとう委員 レクリエーションスポーツ協会の補助金額が5万円減額されて35万円になったのは、どのような理由で減額されたのか。

来年度参加される団体が1団体増えるのに、それでも減額されるということですか。

権藤課長補佐 40万円から35万円に下がったことでしょうか。年度当初40万円の予定でしたが、財政担当者から指摘があり、35万円のままとりました。レクリエーションスポーツ協会にはご迷惑おかけしました。

いとう委員 私の質問が悪かったのですが、2つの質問がございまして、一つ目は40万円から35万円に削られた、という経緯で、そのことはお答えいただいたと思うのですが、2つ目は、来年度、1団体が参加（増える）ということで、それに対して同じ補助金しか出せないのか、そのへんをお聞きしたいと思います。

権藤課長補佐 レクリエーションスポーツ協会の補助金額については、最近の何年かは定額のままでございます。財政事情により増額ということは考えていない状況にあります。1団体増えたから補助金を増額する市の考え方は今のところもっておりません。

中村社会教育部長 補助金のとらえ方については、行革の関係もあると思うのですが、（補助金を）出せている時は、時代も良かったし芦屋市が潤沢な時代がありました。補助金の考え方については「自主独立」ということを行っていたきたいというのがそもそもの考え方がございます。できるだけ過去の経緯からしていくのですが、できるだけ現補助金の中で行ってほしいと思います。

権藤課長補佐 35万円から40万円に（補助金が）上がった経緯は、20周年記念事業を数年前から計画をされておられ、それに対して5万円の増額をしたということです。その次年度からは、35万円に戻させていただいたということです。スポーツ団体が頑張れば頑張るほど、増額が見込める形にはなっておりません。

比嘉委員 2020年に東京オリンピック・パラリンピックがやりますが、国の予算も過去最高290億円（前年度比34億円増）ほど増えたようですね。私が思うのには、スポーツはもっと価値のあるものだと思うのですが、今度、やっとスポーツ庁ができて、今後のスポーツ推進施策についても、もっとお金をかけないといけないと思っており、特に地域スポーツにもっとお金がながれるような仕組みをつくってほしいと思っていますね。

岡田会長 確かに、今、補助金というのは、しばられており、厳しいですね。
他にご質問ご意見はございませんか。

岡田会長 それでは、次の議題に入ります。

議題（２）芦屋市スポーツ推進実施計画の進捗状況について

芦屋市については、兵庫県下の中では随分、進んだ市でございまして、このスポーツ計画は、前計画が10年を経過して、現計画を策定されたことは、忠実に、まさに法に則って、きちっと進められていることは、立派な市ではないかと思えます。

今回、きれいな冊子ができておりますが、平成26年3月にできて、まだ1年ほどでございます。本計画（前期5か年計画）がどんな形で進められているかを、事務局からお聞きしたいと思います。

権藤課長補佐 まずは、資料を確認させていただきます。

※計画冊子は市ホームページに掲載済み、資料2（芦屋市スポーツ推進実施計画進捗状況）は別紙のとおり、資料3（学校体育・スポーツ関係資料）の6～8、12、13ページ分は個人情報のため未掲載、資料4（国民体育大会等の全国大会出場一覧）の芦屋大学の競技成績一覧は個人情報のため未掲載とします。

会議の初めに西田副会長からもお話がありましたように、まず計画を立てたら、過去の例をみますと、眠ってしまう場合が多いようです。そんなことから、芦屋市のスポーツ団体（体育協会、レクスポ協会、スポーツ推進委員会、スポーツクラブ21ひょうご）と行政（スポーツ推進課）とが連携・協働してセミナーを行うこととなりました。そのねらいは①本計画を知ってもらうこと。②本計画を理解してもらうこと。さらには③参加者にいろんなアイデアを出してもらう。ことです。講師は本審議会委員でもある、神戸大学大学院教授の山口泰雄先生にお願いしました。

まず1年目は「あしやスポーツフォーラム（資料、別紙のとおり）」を開催して、多くのスポーツ関係者に周知をすることが大きな事業であったのかなと思えます。

次に、資料2を説明させていただきます。

主には、計画冊子13ページの「3芦屋市におけるスポーツの課題と対応」は、できるだけ早く対応していくものとして考えております。

（資料2の1ページ目説明）

次に、計画冊子20～24ページの「第8章今後の芦屋市スポーツ推進重点施策」についてです。

主には「1ライフステージに応じたスポーツ推進施策（子ども、成人、障がい者、アスリート）」、「2スポーツ文化の推進施策」、「3ささえるスポー

ツの推進施策」,「4 スポーツ団体, 学校・大学, 行政等における連携・協働の推進施策」

(資料2の2～4ページ目説明)

木下係長 (学校教育) 芦屋市の学校体育・スポーツについて説明させていただきます。

※資料3 (学校体育・スポーツ関係資料) 説明省略

岡田会長 ありがとうございます。ただ今, 資料2～3の説明をいただきましたが, 何かご質問はございますか。

井原委員 資料3の新体力テストの結果が「かんばしくない」ようですが, 私のところでは, 文科省の総合型地域スポーツクラブの拠点クラブとして, 「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト事業」をすすめていただきて, 芦屋市の小学校へスポーツ指導員を派遣させていただきました。そこで, 私たちが感じたことなのですが, 芦屋市の小学校は, 「教え合い」を大切にしておられ, 子どもたち同士で感じて気づいていってほしいというところで, それが体育の授業などでも導入されていると思うのですが, 良いところと悪いところがあって, 悪いところは, 45分の授業の中で15分くらいしか実際の体育の実技の時間が取れなかった, そんな印象があります。私たちは, 他の市町でもお手伝いさせていただいておりますが, 他市の小学校と比べたら, 体育の実働時間が短いことがこの結果につながっていると感じておりまして, そのへんのところはいかがお考えかなと思います。

木下係長 (学校教育) 運動量の確保というところでは, ある程度の実働がないといけませんし, 動きは繰り返しながら身に付くものだと思います。そういったところは小学校体育研究部会の中で話題としております。「教え合い (思考や判断, 態度を育てる)」に力を入れる授業なのか, 「経験値を重ねて技能面の強化」を中心に授業を行うのか, その時の指導者のねらいによると思います。ただ, 運動量の確保については課題としております。

北尾委員 確かに「教え合い」という形で, 運動量が少ないということで気にしてはいますが, じゃ, それが週に2時間, あと倍の運動量があったら本当に体力が伸びるのか, ということですね。子どもの体力を上げるにはどうしたらいいのか, そこに問題意識があって今の考え方だったところですね。運動するのが好きになって, 体育の授業でやったことを遊び時間にやりたいとか, 家帰ってやりたいとか, そこが増えていかないと, 本当に体力向上につながらないのではないのでしょうか。芦屋の子どもたちの生活全般の中での運動に対する考え方というのを底上げしなくてはいけないかなと感じています。ご指摘のことは, 学校としては考えているのですが, その切り口をそういう考え方で広げていけないかなと学校として思っています。

西田副会長 このテストは5年生だけですか。学校の中で見せ合いなどはしないのですか。我々が小さい時は、小学校の時にスポーツ章テストがあって、それに向けて、金章、銀章などをもらうため、放課後に遊びの中で走り幅跳びなど練習をした思い出があります。そういう評価が競走というものになるのですが、そういうことがあってもいいのかなと思います。

北尾委員 そのことではないですが、学校やクラスを回っていますと、冬だと「長縄とび」をよくしています。長縄を「めざせ何回！」とか、クラスで何回回せるかなど、それぞれのクラスがグラフにして「伸びていたよ」と言い合ったりします。また学校全体で長縄とび大会をするから練習をしたりもしています。

西田副会長 そういう工夫や動機づけが、子どもたちの中で良い環境ができていくといいですね。

金山委員 小学校学習指導要領が変わって、新しい種目として「フラッグフットボール」でずいぶん苦労されているようですが、そういうところをピックアップして研修会を開いていることは取り組みとして大変良いことだと思います。

体力テストのことですが、マクロの状況というのが1枚目にあるだけで、あとはミクロな個別的な情報等が3ページ目にあるのですが、見たかぎりのことですが体格が書いてあり、肥満度が総体的にマイナスが付いているのですね。スレンダーな子が多いから筋力も不足してきますし、逆に言うと持久力が高くなってくるのは、体格のことがずいぶん影響するのだと感じました。おそらくその背景には、日常生活の中での塾通いや総合型クラブの参加率など、勘案してこれを見ていかないと、単に授業の中だけで向上できるものではないので、そのへんのところの背景を押えていったら、もっと深い議論になると思います。

もう一つは、資料2のほうで、スポーツ基本計画の中で「好循環の創出」というのがキーワードとして入っていて、スポーツ選手のセカンドキャリアについては、芦屋市の計画の中に入っているのでしょうか。

権藤課長補佐 今のところは入ってはおりません。体育協会が積極的に事業を展開しようとされるところかなと思います。

西田副会長 体育協会は、「芦屋ユナイテッドプロジェクト」ということで、トップアスリートを地域クラブに呼んでいます。現在はバレーボールとサッカーの指導者です。

金山委員 あるのですか。見えてこなかったのです。

西田副会長 ただ、文科省がやる事業とは別なのですが、独自にすすめております。

権藤課長補佐 芦屋大学が「阪神間スポーツモダニズム」事業を展開されておられ、

有名なスポーツ指導者をお呼びして、芦屋を中心にスポーツ指導やイベントを展開されています。

金山委員 各団体と連携して、やっておられるということですね。

比嘉委員 本日、いろいろなお話を聞いておりました、芦屋市のスポーツは、頑張っておられるなど感心した次第です。もちろん、今後も頑張ってください、芦屋大学も地元のスポーツ推進に対してしっかり応援していきたいと思えます。

岡田会長 それでは、2つの議題が終わりました。「その他」がございますが、何かありましたらお申し出いただけましたらと思います。

岡田会長 それでは、本日予定されておりました議題は終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

権藤課長補佐 岡田会長、スムーズな議事進行をいただきありがとうございました。最後にお礼のご挨拶を、中村社会教育部長からさせていただきます、終わりにしたいと思います。

中村部長 (お礼の挨拶)

権藤課長補佐 これをもちまして、平成26年度第1回芦屋市スポーツ推進審議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

以上